

平成25年度町田市教育委員会

第9回定例会会議録

- 1、開催日 平成25年（2013年）12月13日
- 2、開催場所 第三、第四、第五会議室
- 3、出席委員 委 員 長 佐 藤 昇
 委 員 岡 田 英 子
 委 員 井 関 孝 善
 委 員 高 橋 圭 子
 教 育 長 渋 谷 友 克
- 4、署名委員 委員長
 委 員
- 5、出席事務局職員 学校教育部長 坂 本 修 一
 生涯学習部長 田 中 久 雄
 学校教育部次長 高 橋 良 彰
 （兼）教育総務課長
 教育総務課担当課長 有 田 宏 治
 （兼）教育総務課事務係長
 学校教育部次長 佐 藤 卓
 （兼）施設課長
 学校施設管理センター担当課長 守 屋 昌次郎
 学務課長 田 中 英 夫
 保健給食課長 佐 藤 浩 子
 学校教育部指導室長 小 池 慎一郎
 （兼）指導課長
 指導課担当課長 吉 川 清 美
 統括指導主事 小 林 洋 之
 教育センター所長 谷 博 夫
 統括指導主事 中 原 明 寿

生涯学習総務課長	神 田 貴 史
生涯学習センター長	熊 田 芳 宏
生涯学習センター担当課長	外 川 吉 宏
生涯学習部図書館担当部長 (兼) 図書館長	尾留川 朗
図書館市民文学館担当課長 (町田市民文学館長)	横須賀 秀 男
図書館副館長	近 藤 裕 一
図書館担当課長	吉 岡 一 憲
書 記	高 橋 由 希 子
書 記	谷 山 里 映
書 記	村 井 博 宣
速 記 士	平 野 京 子

(株式会社スタッフジャパン)

6、提出議案及び結果

議案第63号	町田市立学校学校支援地域理事の解職の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承 認
議案第64号	町田市教育委員会感謝状の贈呈に関する要綱の制定について	原 案 可 決
議案第65号	教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承 認
議案第66号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承 認
議案第67号	都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承 認
議案第68号	学校支援ボランティアへの感謝状の贈呈について	原 案 可 決
議案第69号	町田市情緒障がい学級（不登校）入退級相談委員会委員の任命及び解任について	原 案 可 決

議案第70号 町田市障がい児就学相談委員会委員の委嘱について

原 案 可 決

議案第71号 町田市都史跡西谷戸横穴墓群保存管理計画策定検討委員会委員の委嘱について

原 案 可 決

議案第72号 まちだ市民大学HATSプログラム委員の委嘱について

原 案 可 決

7、傍聴者数 1 名

8、議事の概要

午前10時00分開会

○**委員長** おはようございます。それでは、ただいまより町田市教育委員会第9回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は井関委員です。

まず、日程の一部変更をお願いします。日程第2、議案審議事項のうち、議案第65号、第66号、第67号は非公開案件ですので、日程第3、報告事項終了後、一旦休憩をとり、日程第4として、関係者のみお残りいただき審議したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

それでは、以下、日程に従って進めてまいります。

日程第1、月間活動報告に入ります。

教育長から説明をお願いいたします。

○**教育長** それでは、前回の教育委員会定例会以降の教育委員会に関わる主な活動状況について、ご説明申し上げます。

前回の教育委員会定例会は11月1日、金曜日でございました。同じ日に、市の辞令交付式がありましたので、それに同席をしております。

午後には、町田第五小学校において研究発表がございましたので、各委員とともに出席

をいたしました。昨年は町四小、町五小で道徳の全国大会があったわけですが、その取組に続く取組ということでございます。

2日の土曜日ですが、南第二小学校が創立140周年を迎えたことを記念した式典並びに祝賀会が開催されましたので、これに各委員とともに出席をしております。今年度、創立140周年を祝う学校が4校ありますが、その最後を飾る学校です。

3日、日曜日ですが、J C杯のサッカー大会が野津田の陸上競技場のグラウンドでございましたので、これに委員長とともに出席をして、ご挨拶をまいりました。

同じ日、鶴川第二中学校の創立40周年記念式典が開かれましたので、各委員とともに出席をしております。

4日、月曜日ですが、ひなた村におきまして中学校の連合演劇発表会が開かれました。ご挨拶をまいりました。

5日の火曜日ですが、金井中学校で現在、試験的に市内で2校導入している、ipadを活用した授業公開が行われましたので、これを拝見してまいりました。映像を使って生徒に興味を抱かせる工夫がいろいろ凝らされていたということで、非常に興味深い試みだと思いましたが、一方において、担当する教師の一定の習熟が必要だなという思いも抱いたところです。

6日、水曜日ですが、校長役員連絡会がございました。

同じ日に、定例で行っております市長に対する教育委員会の活動報告11月分を行っております。

7日、木曜日ですが、市民ホールにおきまして中学校の連合音楽会が開催されましたので、各委員とともに出席をいたしました。

同じ日に、町田警察署の署長さんがこのほど交代をされましたので、警察署のほうにお願いをする交通安全、あるいは生活指導面等々でさまざま連携をとり、また、お願いをしなくてはいけないということもございまして、ご挨拶に行つてまいりました。

8日、金曜日ですけれども、小山ヶ丘小学校で研究発表がございましたので、各委員とともにその発表を見てまいりました。体育、保健、食育を通した研究発表ということで、会場として小山ヶ丘小学校に隣接をしているサレジオ工業高等専門学校もお借りして、体育館、グラウンドで授業の発表が行われておりました。そういう意味で、小山ヶ丘小学校の地域連携も感ずることのできた発表でした。

8日と14日に校長ヒアリングとありますが、これは退職並びに再任用校長の異動に関する

るヒアリングを行ったものでございます。

翌週の11日の月曜日ですけれども、町田第三中学校へ市教委訪問で行ってまいりました。全体的に生徒が落ちつかない様子も見られましたが、教職員が一生懸命がんばっている様子も一方においては拝見することができました。市教委として支援を継続していきたいと思っております。

12日、火曜日ですけれども、例年行っております、すみれ会との懇談会を実施しましたので、これに出席をし、さまざまな意見交換をしてまいりました。特別支援教育を中心としまして、いろいろな課題がまだまだございますので、そういった内容についての意見交換です。

同じ日に教育委員会協議会が行われました。教育プランに対するパブコメの結果とか、教育目標、基本方針、施策方針の今後のあり方など、大きなものとしては4件でございます。

同じ日に職員の業績表彰の審査会が開かれましたので、これに出席をしております。これは、職員が他の模範となる行為を行った、あるいは市の業務に有益な改善をなした、あるいは特別な功績があった職員、あるいは組織、課とか係を表彰する内容で、今年は7件が対象になりました。

それから、13日、水曜日ですが、定例の都市教育長会が自治会館で開かれましたので、これに出席をしております。

翌14日、木曜日は定例校長会がございました。校長ヒアリングは先ほど申し上げたとおりです。

15日、金曜日ですけれども、南第四小学校におきまして研究発表が行われました。これは、体育に関わる全国大会でございますけれども、一人一人の良さを伸ばす陸上運動系、保健学習の指導の工夫ということをテーマに行われたもので、大勢の出席者を集めておりました。

それから、16日、土曜日ですけれども、町田市中学生職場体験功労事業所等感謝状贈呈式を行いました。各委員とともに出席をしております。町田市における中学生の職場体験はもう9年目を迎えているわけですけれども、この間、さまざまな、しかも多くの事業所のご協力に支えられながら、東京都でも稀に見るような大規模な職場体験を実施できているということで、今年度に関しましては、継続して6年間お世話になっている事業所にご案内を差し上げまして、当日は60を超える事業所にご出席をいただいたものでございます。

18日、月曜日ですが、市教委訪問で南大谷小学校に行つてまいりました。子どもたちの伸び伸びとした様子、西岡校長先生が発案されている校庭の銀杏を販売する試み、今はお隣の南大谷中学校の銀杏もいただいているそうですけれども、興味深くお伺いしてまいりました。

翌日19日の火曜日ですけれども、南中学校におきまして、南中学校区の小中連携小学校陸上記録会が行われましたので、これは町田市としては初めての試みですけれども、各委員とともに見学しております。南中学校の学区には南一小、南三小、南四小があるわけですが、それぞれの小学校から選手が出て、学校対抗といったような形で非常に盛り上がった記録会でした。こういう取組が町田市全体に広がっていくことを願うものでございます。

20日、水曜日ですが、生活安全協議会が開かれましたので、これに出席をしております。

同じ日に、町田地区の保護司会の懇談会、これは以前も行われたことがあるようですが、久しぶりであるということで各委員とともに出席をしております。

22日の金曜日ですが、毎年行われております学長懇談会に出席をしております。今年度は大学の地域貢献が大きなテーマでございました。

それから、少し飛びまして28日、木曜日ですけれども、この日から12月議会第4回定例会が始まりました。初日は提案理由説明ということで、委員長とともに出席をしております。

翌29日、小学校の合同音楽会が町田市民ホールで行われました。各委員とともに出席をし、ご挨拶したところでございます。

同じ日に、国際版画美術館で退職校長会の作品展が開かれておりましたので、そこに伺つてまいりました。町田市の学校の校長先生を退職された方々が多彩な作品を寄せておられました。

30日の土曜日ですけれども、東京駅伝の結団式が町田第一中学校の体育館で行われましたので、各委員とともに出席をしております。2回の総合優勝を誇る町田市の中学生ですが、今年は応援のための旗も新調いたしまして、またいい成績が上げられることを期待したいと思います。

12月3日から市議会の一般質問が始まりました。12月3日から9日までの日程で、委員長とともに出席をしております。

それから、6日の金曜日、職員表彰式に出席をいたしました。これは、具体的には期限

付きの任用職員ということで、大変実績を上げていただいたということで表彰を行ったものでございます。

それから、8日の日曜日ですけれども、国際版画美術館で、東京町田ロータリー・クラブの幼児画展の入賞者の表彰式がございましたので、これに出席をしました。市内の保育園や幼稚園の子どもたちが描いた図画が対象でございます。教育長賞を授与させていただきました。

10日の火曜日は市議会の質疑が行われましたので、委員長とともに出席をいたしました。

そして、昨日、定例校長会が開催されまして、夕刻、教育庁の神楽坂庁舎で行われました教育管理職の異動ヒアリングに臨んでまいりました。

長くなりましたが、以上です。

○**委員長** ありがとうございます。それでは、部長からお願いいたします。

○**学校教育部長** 2013年度の第4回町田市議会定例会、12月議会でございますが、この中で文教社会常任委員会が12月11日に開催されております。いつもこの審議内容をご報告させていただいておりますが、今回、学校教育部所管分の議案や行政報告はございませんでした。

以上でございます。

○**生涯学習部長** 同じく12月11日の文教社会常任委員会、生涯学習部所管の質疑の概要につきましてご報告いたします。

生涯学習部の案件は、第122号議案、平成25年度一般会計補正予算が1件でございます。補正予算の内容は、図書館関係で、債務負担行為補正のうち、図書館ICタグシステム導入事業を廃止するもの等でございます。委員会では、2014年度予算への影響、ICタグの添付総数の確認の質問がありましたが、補正予算につきましては全員一致で可決されております。

以上が生涯学習部所管の質疑の概要でございます。

○**委員長** それでは、教育長及び両部長からの報告について、何かございましたらどうぞ。

○**井関委員** 教育長のご報告で、12月12日に教育管理職異動ヒアリングがあったということですが、ここで対象になった教育管理職は、町田市でいうとどの辺の範囲になるのでしょうか。職名ですね。

○**教育長** 校長と副校長が対象です。

○**井関委員** どうもありがとうございました。

○**委員長** ほかにございますか。

○**高橋委員** 教育長がおっしゃった12月6日、金曜日の職員表彰式で、どのような内容で表彰がなされたのでしょうか。

○**教育長** 期限付き採用の職員と申しあげましたけれども、具体的には、システム担当の部長職として採用された方で、民間のご経験をもとに、いわゆるシステム関連の経費は非常にお金がかかるわけですが、その経費の節減に非常に力を発揮していただいた。あるいは昨年、新庁舎に移転したわけですが、システムを移転するということも大変な技術が必要なわけですし、そういったものにも大変な力を発揮されて、しかも、何の事故もなく終了することができた。さらには、町田市のシステムに対する取組を全国に発信をしてくださったというような数々の功績がありましたので、特別に表彰がなされたということでございます。

以上です。

○**委員長** それでは、次に各委員から報告をお願いいたします。最初に井関委員、お願いします。

○**井関委員** 今日は2件ございますが、11月16日の午後、自由民権資料館で開催されている「市民の歴史研究事始め」展のギャラリートークを聞きました。この展示は、町田自由民権カレッジ1期生の成果の発表で、本日の議題に実施報告が予定されています。当日は、担当学芸員の杉山弘氏の全体解説と、この日の発表を担当する1期生3名の発表がありました。学術研究発表のスタイルとして、講演するのと、掲示物の前で討論するポスターセッションという方法がありますが、これは後者でございました。この展示の開催については、10月の定例会で生涯学習部長から報告がありました。また、広報まちだ（11月11日号）のカワセミ通信で石阪市長が卒業論文集にも言及して紹介されていますので一部重複いたしますが、今回は2009年から3年間かけた成果の発表でした。テーマは、自由民権資料館で2007年に発刊されました全6刊の「武相自由民権史料集」の講読から出たもの、それから、これとは全く異なった個人の市民が研究されたもの他、非常に幅広いということで、学芸員の方もテーマや素材の多様さが民権カレッジの特徴だったと言われ、そこに現在の市民社会が見事に映し出されているということ気付かされたと言っていました。展示の入口にあるケースの中に1期生の論文作成のメモが集められて展示してあったのですが、ほとんどが大学ノートで、杉山さんもワープロよりも大学ノートの時代の1期生だと表していました。卒業論文は、厚さ1センチ以上の立派なものですが、主とし

てインターネットから集めたものや、他人の文献の引用の仕方が不十分なものなどがあって、このまま自由民権資料館から公刊するわけにはいかなかったようです。学芸員としても、2012年から始まっている第2期、2015年から始まるであろう第3期も考えて、この発表の後どうするかというのを思案しているようです。

1つだけ内容をご紹介しますと、明治の初めに『穎才新誌』という子どもの投稿雑誌があったそうですが、大体、良妻賢母を良しとしているのですが、中には男女平等論、さらには、小学校の先生はみんな女性がいいというような子どもの投稿も見られるそうです。

2番目は、11月24日に市民文学館で行われています「赤川次郎」展の講演会に参加しました。ポピュラーな作家の話が聞けるということで、全国から約250名の応募があったそうですが、当日、80名の予定を100名に増して行われました。いつもと違って比較的若い女性が多く、特に広報の関係者席には、編集者でしょうか、若い女性が数名来られていました。講演内容は、「三毛猫ホームズ先生の課外授業」と題し、小説を書くということに絞って、四、五歳のとき漫画で物語をつくったことから始まって、500冊以上のミステリーを書いた現在までの話をされました。中学生時代にシャーロックホームズを読んで、人を楽しませる小説があるということを知って、ミステリーを書くようになったそうです。当時書いた小説を人に見せるわけではなかったもので、ほとんどが未完だそうです。

講演の後の質問で、このような原稿は出せないのかと聞かれますと、今読み直すと、子どもなのにベッドシーンなどがあって恥ずかしいと答えられていました。この質問をした人は長崎から来た人でした。人に見せるような小説を書き出したのは、日本機械学会の職員だったときに同僚と同人誌をつくったところ、同僚の女性から「文章がうまいのね。おもしろいわよ」と言われたのがきっかけだそうです。その後、洪々書くということがなく、好きだから書くということで、新人賞をとった新進作家に「次は何を書くのですか」と聞くと、「何を書けばいいのかわからない」という答えでガックリするそうです。作家は、きちんとした文章が書けること、そして、読者に自分の考えていることを伝えられることが重要と言われていました。

この講演会には、耳の聞こえない女性が出席されていて、同世代の女性2人が手話を交代でしていました。たぶんボランティアでしょう。手話のできる友達に支援されて、恵まれているなと感じました。

あと、万年筆で書かれた生原稿の展示を見た女性が、「パソコンを使わないのですか」と質問したところ、ちょっと試したことはあるけれども、変換をしていると文章のリズム

が変わってしまうので、今でも原稿用紙に0.8ミリの水性ペンとこだわった手書きとのことでした。

以上です。

○**委員長** 次に、高橋委員、お願いします。

○**高橋委員** 4件、活動報告いたします。11月1日、町田第五小学校、11月8日、小山ヶ丘小学校、11月15日、南第四小学校、それぞれの研究発表会に参加いたしました。どの学校も、全校挙げて先生方が真剣に取り組んでこられた結果を授業の中での子どもたちの様子から感じ取ることができました。子どもたちが生き生きと楽しそうに、また意欲的に授業に参加している姿に、研究発表会の成果は、先生方の授業力の向上にあり、その恩恵を受けた子どもたちの姿にあると改めて感じました。それぞれの学校で行われた研究に心より敬意を払い、感謝しております。

次に、11月12日、13日と生涯学習センターで行われた中学生をもつ保護者のための講座に参加してきました。私は常々、子育てや家庭教育について保護者が学ぶ機会が必要だと強く思っていますので、生涯学習センターにおいて、乳幼児をもつ保護者、幼児をもつ保護者、小学生をもつ保護者、中学生をもつ保護者と、子どもの成長段階に合わせた家庭教育支援講座が、生涯学習センター主催で開かれることは、現代の保護者にとって大変ありがたく、必要とされている学習を生涯学習センターが提供していると思っています。ぜひこれからも、ほかの部との連携をとりながら、町田市全体の課題として取り組んでほしいと願っています。特に乳幼児期の子育てについては、子どもの健診などで保健所や市民センターを訪れた際に、その場で学べるような形をとるなど、多くの保護者への啓蒙活動が大切で、虐待防止策としても緊急に考えていかななくてはならない課題だと思います。私は今回、中学生をもつ保護者のための講座に参加しましたが、どの保護者も、思春期の子どもをもつ親としての悩みや苦しみを抱えているからこそ参加されていると感じました。講座の内容は、いじめ、学校がすべきこと、親ができること、思春期の子どもの育ちと地域の役割でしたが、親としての姿勢や地域としての親の役割などを学べ、学校にのみ責任を問いがちな現状を、まず子育ての主役としての家庭の役割やあり方を主体的に考える機会となり、大変有意義な講座だったと思います。

11月16日、町田市中学生職場体験功労事業所等感謝状贈呈式に参加いたしました。2005年度から始まった職場体験ですが、今回、このような感謝状贈呈式が多摩地区の市において初めて町田市で実施されました。当日は石阪市長からもお礼を兼ねたご挨拶があり、ま

た、出席された事業者の代表者のお一人お一人に教育長より手渡しで感謝状が渡されるなど、町田市教育委員会としての感謝の思いを最大限にあらわす工夫がなされていました。職場体験の実例がテレビ番組で紹介され、その後、在校生及び卒業生による体験談があって、職場体験をした子どもたちの生の声を聞くことができました。子どもたちの声を事業者の方々とともに同じ空間で聞いたことは、職場体験への思いを1つにするために大変よかったですと思いました。その後、受入れ事業所の方の代表者からお話があり、職場体験への思いを新たにされた決意をお聞きして、これからも素晴らしい職場体験が行われていくことを確信し、そのような決意をしてくださったことに心より感謝いたしました。町田市の未来を担っていくであろう子どもたちを、ともに育てていくための大切な学習としての職場体験が、教育委員会だけでなく、町田市全体の取組として認識されることを心より願っています。

11月7日、中学校連合音楽会、11月28日、29日と小学校合同音楽会に参加いたしました。両音楽会とも音楽のすばらしさやパワーを感じることができ、町田市の音楽のレベルの高さを感じることができました。小学校、中学校ともに、音楽部の先生方はチームワークがよく、ともに切磋琢磨して音楽教育をなさっていることも感じました。子どもたちの生き生きとした姿、美しいハーモニー、その演奏に魅了された音楽会でした。

以上です。

○**委員長** ありがとうございます。次に、岡田委員、お願いいたします。

○**岡田委員** 今まで報告いただいた委員と少し重なるところもあるのですが、体育の授業の研究発表が小山ヶ丘小学校と南第四小学校でありました。どちらの学校も、子どもたちの体育の動作の機敏さとか、実際の記録としての数値などの上昇、よくなっていくということ子どもたち自身が実感することができて、体育の時間がどんどん楽しみになるというような、とてもいい成果を上げていました。そしてまた、それが町田市全体に広がっていています。どこの学校に行っても、最近、子どもたちは以前に比べてもよりたくさん運動をしているなど見受けられるので、大変すばらしい成果だと思いました。

同じように、今、高橋委員からもあったのですけれども、鶴川第二中学校、鶴川第二小学校が大変大きな立派な賞をいただいたということで、今月の活動の中で、中学校連合音楽会、小学校合同音楽会に行きましても、町田市中のすべての学校が音楽のレベルが上がっているというのを実感いたしました。これは、お互いに影響し合って、さらによりよいものを追求していくという姿勢が町田市全体に広がっているのです、大変いいことだなと感

心いたしました。

また、先ほど教育長と高橋委員からもありましたように、職場体験の感謝状贈呈式がありました。そこで、「鶴川中学校の職場体験学習のまとめ」というものが配られました。これを読ませていただいたのですが、これは2年生全員のまとめが掲載されています。どの子も一様に「自分の将来に対する考え方を持つことができるようになった。」、「働くことは大変だということもわかり、また、自分たちがやってできたという自己充実感を感じた。」とのことでした。とにかく大変な事業で、1週間やるということは全国でもほとんどありません。事業者の方々にもとても感謝をし、また、大変だなということで恐縮をする思いではあるのですが、それなりの効果が子どもたちにはあらわれているので、続けられるといいなと心から思いながら、この鶴川中学校のまとめを読みました。

さて、11月13日、中学校のPTA連合会のブロック別情報交換会で、私は西ブロックの堺中学校へ行きました。これは、それぞれ委員が各ブロックに行かれているはずですが、テーマは共通していて、「部活動について」というテーマで話し合いがなされました。西ブロックは、堺中、小山田中、武蔵岡中、忠生中、小山中、木曾中と全部で6校あるのですが、いずれの中学校も部活動に大変熱心な中学校です。先生方があまりにも多忙になり過ぎて、この話し合いの場でも「部活離婚」という言葉もあるなどということをおっしゃっていただくくらいでしたが、本当に先生方が部活動に熱心にご指導いただくあまりに、土日もない、帰りも遅い、そして、なおかつ授業もされているという状態です。私などは特に外部指導員の方にお任せしたらどうかとか、何とかアウトソーシングのような形をとれないかと思いました。先生方は、とても熱意を持ってくださっているので、このところを何かうまくできないかなと思いながら、いろいろな話を聞いていました。学校教育の一環としての位置づけであるということと、それから、先生自身が部活動で大変楽しい思い出をご自身が学生のときに持っていたのを、子どもたちにも味あわせてあげたいという、そういった本当に思いやりであったり、子どもたちへの愛情であったり、と同時に、またPTAも協力しようという意欲があるので、部活動にかける中学校の先生方の時間について、何とか解決する方法を一緒に考えていけたらいいなと思いながら、実態がよくわかって帰ってまいりました。

それから、もう1つ報告事項です。私は「フリースクールの可能性」という生涯学習の講演会に行ってまいりました。越谷らるごという「りんごの木」というフリースクールをつくられた方の講演でした。当日は大変天候の悪い日で、参加者はあまり多くはなかった

のですけれども、お集まりになられた方は学習支援ボランティアコーディネーターの方であったり、民生委員の方であったり、教育、あるいは学校に通えないことで悩んでいる子どもたちに対する思いを深く持っていらっしゃる方が多く集まっていたりしました。フリースクールというのは、居場所がなくなってしまった、学校にも家庭にも昼間の時間はいられない子どもたちがフリースクールというところを必要としているのだという考え方があったり、不登校の子どもたちを学校という枠ではなかなか受け入れられないときに引き受けるという、ある意味では学校の代替であるオルタナティブ教育というような捉え方をしていたりしました。

こちらのフリースクールのお約束ということで3つのことがあって、自分のことは自分で決める。みんなのことはみんなで決める。みんなで決めたことはみんなで守る。責任を持って自立して、そして協力してやっていくという姿勢で運営をされているという話でした。大変興味深かったのは、その後の質問のところ、たぶん福祉関係の方だと思うのですが、いろいろな形のものがあるのですが、フリースクールというところで、ある意味孤立するのではなくて、やはり学校であるとか、教育委員会であるとか、あるいは福祉のためのいろいろな機関だったり団体があるので、そうした関係機関とのネットワークづくりをする必要があるのではないかというようなご意見が出ていました。私もそれはもっともだと思いました。フリースクールでももちろん学習指導要領を参考にした教育をしているとおっしゃっていましたし、中学校までの義務教育の認定は行うことができるわけですが、やはりできれば学校に戻ってきてほしいというのが私の立場からは思うことですので、連携ができていったらいいなと。そうした話し合いの場に出てきていただくと大変ありがたいというようなことを思いながら講演会を聞いてまいりました。

以上です。

○**委員長** それでは、私から1点ご報告します。中学校PTA連合会ブロック別情報交換会、これは先ほど岡田委員から報告がありましたが、20校が4つのブロックに分かれて懇談会を行ったわけですが、テーマが「PTAの部活動への関わり方」ということで、どのブロックもこのテーマで話し合いが進められたようです。私は、4つのうち2つのブロックに参加いたしました。このテーマがどういう経過で決められたのかについては承知しておりませんが、保護者、PTAが部活動に対して大きな関心を持っているということのあらわれだろうと思いました。先ほど岡田委員が言いましたように、学校にとっては、さまざまな課題や苦労や難しさや、いろいろなことを抱えながら、保護者、子どもの期待

に応えようとしている。その学校側の苦勞については、保護者の皆さんが必ずしも承知していないなということを感じました。私は、挨拶の中で学校側の課題を語ってまいりましたが、これからも部活動に対する期待の大きさと、それから、学校側にとっての課題の大きさ、この間をどのようにして埋めていくのかは大きな課題だと思いました。

以上、私を含めて教育委員4人から報告がありましたが、何か質問などありましたらお受けいたします。よろしいでしょうか。

それでは、以上で月間活動報告を終了いたします。

次に、日程第2、議案審議事項に入ります。

まず、議案第63号を審議いたします。教育長から説明をお願いいたします。

○**教育長** 議案第63号についてご説明申し上げます。「町田市立学校学校支援地域理事の解職の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」でございます。

本件につきましては、町田市立学校の管理運営に関する規則第13条の4の規定に基づく学校支援地域理事について、別紙のとおり、学校長より解職の具申がございましたので、2013年11月20日付けで臨時専決処理をいたしました。本委員会において承認を求めるものでございます。

今回、解職の対象となった理事の方々は、別紙の3校3名の方々です。

以上です。

○**委員長** これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして何かございますか。

(「ありません」の声あり)

○**委員長** それでは、お諮りいたします。議案第63号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、原案のとおり承認することにいたします。

次に、議案第64号を審議いたします。教育長からお願いします。

○**教育長** 議案第64号についてご説明申し上げます。「町田市教育委員会感謝状の贈呈に関する要綱の制定について」でございます。

本件につきましては、町田市教育委員会が行う町田市の教育又は文化の振興及び発展に寄与した者に対する感謝状の贈呈に関しまして、必要な事項を定めることを目的として制定をするものでございます。また、この要綱の附則で、町田市教育委員会感謝状(贈呈)事務取扱要領については廃止をいたします。

具体的な要綱の制定の経緯でございますけれども、1枚めくっていただいた2枚目の3番「制定までの経緯」に書かれているとおりでございます。従来、事務取扱要領に基づいて、教育長が教育委員会の同意を得て、教育委員会名をもって行っていたところですが、これを教育委員会が直接行うこととするということです。事務取扱要領を廃し、新たに要綱を制定するという内容でございます。

説明は以上です。

○**委員長** それでは、質疑に入ります。何かご質問ございますか。

○**岡田委員** 細かいことですが、最後のページになります。第3の「贈呈基準」のところの(3)に「校長又は副校長若しくは教頭として」と書いてありますが、「教頭」という言葉は今使われていないので、この部分はいずれ削除になるのですか。

○**教育総務課長** 過去に教頭であった方が、感謝状贈呈の対象となり得るため、現時点ではこの表現を残しています。

○**委員長** よろしいでしょうか。

○**岡田委員** はい。

○**委員長** ほかにございますか。

それでは、お諮りいたします。議案第64号を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** それでは、ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

続きまして、議案第68号を審議いたします。

○**教育長** 議案第68号についてご説明申し上げます。「学校支援ボランティアへの感謝状の贈呈について」でございます。

本件につきましては、町田市立各小・中学校において、多年にわたり部活動ボランティア、プールボランティア等、さまざまな形で学校支援ボランティアとして学校の教育活動に特に貢献した別紙の方々に対して、町田市教育委員会感謝状の贈呈に関する要綱第3の6に基づき、感謝状を贈呈するものでございます。今年度の学校支援ボランティアの感謝状の贈呈の対象となる団体は、別紙のとおりでございます。その感謝状の贈呈式は、別紙の一番下にございますように、来年の2月4日に生涯学習センターの7階ホールにて執り行います。

説明は以上です。

○**委員長** 質疑に入ります。何か質問ございますか。よろしいですか。

(「ありません」の声あり)

○**委員長** それでは、お諮りいたします。議案第68号を原案のとおり決することにご異議
ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

続いて、議案第69号を審議いたします。

○**教育長** 議案第69号についてご説明申し上げます。「町田市情緒障がい学級（不登校）
入退級相談委員会委員の任命及び解任について」でございます。

本件につきましては、町田市情緒障がい学級（不登校）入退級相談委員会設置要綱に基
づき、2013年5月17日から1年間の任期で委嘱又は任命いたしました4名の入退級相談委
員のうち、別紙にございます1名の方が異動等のために委員を続けることができなくな
りましたので解任し、別紙にございます1名の方を新たに入退級相談委員に任命するもの
でございます。

任期は2014年5月31日まででございます。

説明は以上です。

○**委員長** 質疑に入ります。何かご質問ございますか。

(「ありません」の声あり)

○**委員長** それでは、お諮りいたします。議案第69号は原案のとおり決することにご異議
ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、議案第70号を審議いたします。

○**教育長** 議案第70号についてご説明申し上げます。「町田市障がい児就学相談委員会委
員の委嘱について」でございます。

2013年6月1日付けで138名の方々を就学相談委員に委嘱又は任命をいたしましたが、
このたび、保育園協会から1名の追加についてご依頼をいただきましたので、町田市障が
い児就学相談委員会設置要綱に基づきまして、別紙の1名の方を町田市障がい児就学相談
委員会委員に委嘱を行うものでございます。

なお、任期は2015年5月31日まででございます。

説明は以上です。

○**委員長** 質疑に入ります。何か質問ございますか。よろしいですか。

(「ありません」の声あり)

○**委員長** それでは、お諮りいたします。議案第70号を原案のとおり決することにご異議
ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、議案第70号は原案のとおり決しました。

続きまして、議案第71号を審議いたします。

○**教育長** 続きまして、議案第71号についてご説明申し上げます。「町田市都史跡西谷戸
横穴墓群保存管理計画策定検討委員会委員の委嘱について」でございます。

本件につきましては、町田市都史跡西谷戸横穴墓群保存管理計画策定検討委員会設置要
綱第1及び第3の2に基づき、この計画の策定に資するため、委員として委嘱を行うもの
でございます。

2015年3月31日までの任期でございます。2014年度中に計画の策定を予定しておりま
す。今回委嘱する委員の皆さんの一覧は、別紙のとおり6名でございます。都の補助金
を導入してこの事業を行うものでございます。

説明は以上です。

○**委員長** 質疑に入ります。何か質問ございますか。

○**岡田委員** 以前、こちらの場所の見学というか、見せていただいたときに、ここで書か
れている史跡沿いの市道が通学路になっているという場所は、山の中のようなところで、
まだフェンスで囲っていなかったところがあったと思うのです。ここが横穴墓ですよとい
うふうに見せていただいて穴があいていました。けれども、そこと道との間に特に何のフ
ェンスもないような場所が1カ所あったのですけれども、そのことをおっしゃっている
のでしょうか。

○**生涯学習総務課長** 3年前、台風のときに、遺跡が斜面になっておりますので崩落が起
きまして、フェンスは設置してあるのですが、若干土砂が風雨等でフェンスを乗り越えて
出てきた経過もありまして、そちらのところの工事の関係で危険があると困るというこ
とを指してございます。

○**委員長** ほかにございますか。

それでは、お諮りいたします。議案第71号を原案のとおり決することにご異議ございま

せんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、議案第71号は原案のとおり決することにいたします。

続いて、議案第72号を審議いたします。

○**教育長** 続いて、議案第72号についてご説明申し上げます。「まちだ市民大学HATSプログラム委員の委嘱について」でございます。

まちだ市民大学HATSの2014年度プログラムを開発するため、町田市民大学HATS事業実施要綱第4に基づき、プログラム委員として委嘱を行うものでございます。

任期は2014年11月30日までとなっております。別紙にプログラム委員で委嘱する方々を一覧で掲載をしております。今回につきましては、一覧表の2枚目の真ん中に「法学」とございますが、これが新たに加わったものでございます。

説明は以上です。

○**委員長** 質疑に入ります。何かご質問ございますか。よろしいですか。

それでは、お諮りいたします。議案第72号を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

それでは、日程第3、報告事項に入ります。

まず指導課からお願いいたします。

○**指導室長** 報告事項1点目、「町田市教育委員会 学校教育に係る施策の2014年度の具体的な取組について」ご報告いたします。

これは、2014年4月1日、来年度から施行する新しい町田市教育プランに基づき、学校教育に係る個別施策について、各小・中学校に具体的な取組と重点事業の概要を示すものでございます。新しい教育プランの施行前ではございますが、各学校の来年度の教育課程に反映させる必要があり、まず、昨日12月12日の校長会で配付し、各校長に説明をいたしたところです。今後は、12月19日に実施いたします教育課程説明会においても、副校長、教務主任に配付いたします。各学校が教育課程を編成するに当たって、基底となる資料として、内容について周知を図っていくものでございます。

説明は以上です。

○**委員長** ここで質問の時間を取りたいと思います。ご質問などありましたらどうぞ。よ

ろしいですか。

それでは、続いて生涯学習総務課からお願いいたします。

○**生涯学習総務課長** 報告事項2「自由民権資料館 第3回『資料館まつり』の実施報告について」報告をさせていただきます。

11月3日に行われまして、395名の皆様にお越しいただきました。この人数は、3回やりましたお祭りのうち最高の人数となりました。資料の最後に、特色として記載いたしましたが、天気もよかったこと、あと市民企画展を開催できたこと、この辺については後ほど報告いたします。そして、地域の皆さんのリピーターが増えたことなどが要因として挙げられます。特にカルタ大会では、半数以上が3年連続で参加していただいた児童たちで、聞くと、11月3日は民権でカルタをするということを決めているようで、「来年も来ますよ」と言っていただいて大変うれしく思いました。そのほか開催のイベントの結果につきましては、資料に記載のとおりです。

続きまして、報告事項3、自由民権資料館「市民協働企画展」の実施報告をさせていただきます。

開催期間につきましては、10月26日から11月24日までの26日間で、期間中、1,117名の皆様にお越しいただきました。この1日当たり43人という数字は、ここ10年で2番目の記録ということになりました。発表していただいた卒業生の皆様、展示準備、片づけをはじめ、日々の展示解説など、大変苦勞をおかけしましたが、成果として多くの方にお越しいただくことができたことは、卒業生の皆様にとっても、研究成果を発表するよい機会になったのではと考えております。入館者数が多かった要因といたしましては、展示内容が多岐にわたり興味を持ちやすかったこと、市内の歴史グループや自治会など、団体の来館者の方々が多かったことなどが挙げられると思っております。現在も2期生が研究に当たっております。今後もこのような研究を継続していきたいと考えております。

以上でございます。

○**委員長** それでは、報告事項2及び3について、何か質問などありますか。

○**高橋委員** 子どもたちが大変喜んだ町田の歴史カルタというものは、この資料館で作成されて市販などされているのでしょうか。

○**生涯学習総務課長** これは、昭和57年に緑ヶ丘小学校の卒業生の方が記念につくられたカルタがオリジナルになります。それを寄贈いただきまして、資料館で印刷して、カルタとして使っております。市販はしておりません。

○**高橋委員** わかりました。

○**岡田委員** 今も2期生の方が研究に当たっていらっしゃるということで、1期生の方の発表も「資料館まつり」のときに見に行ってきたのですけれども、本当に多岐にわたっていました。これのご指導に当たっている方は学芸員の方ですか。それとも外部の先生方のご紹介などもあるのですか。

○**生涯学習総務課長** これは学芸員で当たっております。

○**岡田委員** 全部ですか。

○**生涯学習総務課長** はい。

○**委員長** ほかに質問ありますか。よろしいですか。

それでは、図書館から報告をお願いいたします。

○**図書館副館長** 報告事項4「第三次町田市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱の一部改正について」ご報告いたします。

改正理由は、第三次町田市子ども読書活動推進計画策定委員会の作業部会の構成を改めるために改正するものでございます。

改正内容は、添付資料の一番最後のページ、上から4行目、4、部会長及び部会員の規定に、町田市立小学校及び町田市立中学校を加えるものでございます。

最後に、施行期日は2013年9月1日から適用いたします。

続きまして、報告事項5「耐震補強工事に伴うさるびあ図書館の臨時休館について」、ご報告いたします。

延期していました耐震補強工事を実施するため、さるびあ図書館は12月2日から来年の3月末日まで休館いたします。なお、工事中も影響がない移動図書館の運行及び学校図書館支援貸出についての業務は通常どおり実施いたします。

工事の概要ですけれども、これは前回報告と同じで、中2階の柱1カ所に炭素繊維シートを巻き補強を行うこと、2番目として、屋外階段部を建物本体と一体化すること、3点目として、コンクリートブロック壁を撤去し、軽量鉄骨壁とするという3点になります。なお、今回の耐震工事に合わせまして、トイレの一部を和式から洋式に変更するという工事も併せて実施いたします。

次に、報告事項6「『2012年度 町田の図書館』の発行について」、ご報告いたします。

2012年度の図書館の実績等をまとめました「2012年度 町田の図書館」を刊行いたしました。2012年度の特徴といたしましては、図書館のサービス理念と目標の改訂、2012年4

月に開始した川崎市との相互利用の貸出実績、2012年10月に開館いたしました鶴川駅前図書館の利用実績などを掲載しております。

構成は、各図書館の案内や主な取組をまとめた概要編と、実績をまとめた統計編の2部構成になっておりまして、概要編では、図書館の案内、2012年度のサービス概要、業務報告などをまとめ、統計編では、資料費、貸出冊数等の統計数字を掲載しております。

最後に、作成部数は250部作成いたしまして、都内の図書館や相互利用図書館、図書館協議会の委員等に配布するほか、図書館で資料として受け入れして、閲覧とか貸出に提供いたします。

報告の最後になります。7番目の報告です。「鶴川駅前図書館の利用実績について」ということで、鶴川駅前図書館は開館しまして1年が経過いたしましたので、2012年11月から2013年10月までの利用実績等をご報告いたします。

資料を1枚めくっていただいて、最初に鶴川駅前図書館の利用実績でございます。この1年、入館者は毎月3万人前後、貸出は5万冊前後となっております。予約も7,000件を超えております。新規登録も、初期の人数はもちろん落ちついてきましたが、それでも、今年の4月以降も毎月200人を超えるということで、地域館の中では多い数字となっております。

資料の次のページです。鶴川図書館の利用実績ということで、鶴川駅前図書館が開館後、鶴川図書館はどうなったかということですが、個人貸出、予約件数とも対前年比で約36%減少している結果になります。

次に、3番目として鶴川駅前と鶴川図書館の利用の合計、すなわち、鶴川地域の図書館としてどうかということですが、合計では毎月貸出冊数は7万冊、前年と比較して3万冊以上、年間では44万冊の増加となっております。また、予約件数のほうも毎月1万2,000件を超え、対前年比1.4倍の数字となっております。

資料の最後のページですが、全館の貸出冊数への影響ということですが、全館の貸出は前年と比較して5.1%、約20万冊増加しております。それで、駅前の鶴川地域の図書館が44万冊増加しておりますので、24万冊ほど全体で他の地域館・中央館では減っているということになりますので、鶴川駅前図書館の開館で、例えば中央図書館の利用者がそちらに流れているというようなことも少し考えられるのかなと思っております。

最後、資料の一番下ですが、川崎市民の利用実績です。こちらは、やはり個人貸出の80%、新規登録者の79%が鶴川駅前図書館を利用しているという結果になっておりま

す。

報告は以上でございます。

○**委員長** 報告事項4、5、6、7、図書館関係の報告事項につきまして、何か質問などありましたらお願いします。

○**高橋委員** 「第三次町田市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱」の一部改正について、町田市市立小学校、町田市立中学校が部会長及び部会員に指名されるということですが、どのような立場の職員の先生がここに入られるのかわかりますか。

○**図書館副館長** 小学校の代表、中学校の代表ということで、小学校からは小川小学校の高野校長先生、中学校のほうからは南大谷中学校の千田校長先生にお願いするということで決まっております。

○**委員長** 学校代表ということで、校長先生が出席されるということですね。

○**図書館副館長** はい。

○**委員長** ほかにございますか。

○**岡田委員** 鶴川駅前図書館の交流スペースの大きな吹き抜けになって書棚のようなスペースがあったと思うのですが、この間、町田市の広報の中で、あれを開放して利用して自分のデザインをしてくださいというのを見たのですが、その後どのような状況になっていますか。

○**図書館副館長** それについては、直接図書館が所管しているわけではないのですが、3階のスペースの書棚ということで募集をかけているということで、その結果についてはまだ聞いておりません。

○**委員長** 岡田委員、もう一度質問の内容を言っていただけますか。

○**岡田委員** チラッと見た感じで不確かな質問だったので、鶴川駅前図書館の書棚で空いているスペース、本が乗っていないスペースがあるんです。そちらの活用をということで、希望する方に、場所貸しではないですよ、ここにあなたの好きにデザインしたらいかがかというような募集があったと思うのです。市民の方が集まるいい材料かなと思ったので、お集まりでしょうかということです。

○**図書館担当部長** 今、岡田委員がお話しされている件については、文化国際交流財団で指定管理者としてポプリホール鶴川のメガセルフと言われる書架部分についての活用ということで、こちらで話を伺っているのは、最終的には有料で貸出できる方向も考えていきたいと。ただ、当面のところは、あのままではなく、情報発信できるような手法をさま

ざま考える1つとして、今お話があった内容についても行っていくということで伺っています。

○**委員長** ほかに質問ございませんか。

○**高橋委員** 「2012年度 町田の図書館」の17ページ右側で、「⑤おはなし会ボランティアの育成」とあって、その下に「おはなし会ボランティア養成講座（語り手）」とありますけれども、この講座を受けた後は何か活動しなければならないというものがありますか。

○**図書館副館長** 図書館のボランティア養成講座の修了者の方につきましては、その後、図書館でのおはなし会等で語り手として活躍していただくということを前提に講習を受けていただいております。

○**高橋委員** 私も学校で読み聞かせのボランティアをやってきましたのですけれども、特に小学校が多いと思うのですが、小学校で読み聞かせのボランティアをしている方々に、1回限りでもいいので、そういう養成講座があると大変喜ばれるかもしれないと思っております。また、その際には、小学校のPTAへ必ず連絡をしてくだされれば、参加人数も増えるのではないかと思います。私は、図書指導員の研修にたびたび出席するのですけれども、そのときよく、ブックトークのやり方がわからない、学んでみたいというお話が出てきますので、そういうブックトークのやり方の講座なども開いてくだされば、参加される方が多いのではないかと感じています。

○**図書館副館長** 今現在も個別に依頼等があれば対応していますけれども、回数としては少ないのが実態でございます。それで、そういった声がこちらにもきていますので、例えば先ほど報告したように、今、第三次子ども読書活動推進計画にもそういったことが組み込めていければよろしいかなと考えております。

○**高橋委員** よろしくお願ひします。

○**委員長** ほかに質問ございますか。よろしいですか。

（「ありません」の声あり）

○**委員長** それでは、以上で報告事項を終わります。

ここで休憩いたします。

午前11時07分休憩

午前11時09分再開

○**委員長** 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○**委員長** 以上で町田市教育委員会第9回定例会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

午前11時12分閉会